

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ポラテクノ

コード番号 4239 URL <http://www.polatechno.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 崎玉 克彦

TEL 0255-78-4700

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日

平成26年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	12,997	1.9	3,200	19.9	3,337	20.1	2,219	26.5
26年3月期第2四半期	12,754	—	2,670	—	2,779	—	1,754	—

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 2,751百万円 (△21.1%) 26年3月期第2四半期 3,486百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	53.54	53.04
26年3月期第2四半期	42.31	41.71

(注)26年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第2四半期	35,656		29,605		82.7	
26年3月期	32,899		27,011		81.8	

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 29,485百万円 26年3月期 26,906百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	6.25	—	7.75	14.00
27年3月期	—	7.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	4.7	5,500	7.2	5,500	1.9	3,600	3.6	86.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	41,450,000 株	26年3月期	41,450,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	77 株	26年3月期	77 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	41,449,923 株	26年3月期2Q	41,449,923 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国は緩やかな拡大が続き、中国は緩やかに回復し、一部の新興国では持ち直しの動きも見えました。一方、欧州は回復に陰りが見えました。日本経済は消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動も和らぎ、緩やかな回復基調が続きました。

このような環境の中、当社グループでは、グローバルかつ変化の大きい事業環境においても、継続的に成長できる収益体質を実現すべく、新製品の開発、新規市場の拡大、コストダウンを推進してまいりました。また、全般的な円安傾向の影響も受けました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は129億97百万円（前年同四半期比1.9%増）、営業利益は32億円（前年同四半期比19.9%増）、経常利益は33億37百万円（前年同四半期比20.1%増）、四半期純利益は22億19百万円（前年同四半期比26.5%増）となりました。

セグメント別では、光学フィルム事業におきましては、サングラス用素膜や温度追従型楕円偏光フィルムの出荷が減少しましたが、産業用や車載用LCDパネル向けの染料系偏光フィルムや楕円偏光フィルムの出荷が伸長し、光学フィルム事業全体では売上高が増加しました。

精密部品事業におきましては、無機偏光板ProFluxについては通常の液晶プロジェクター向けの出荷が伸長した一方、デジタルシネマ等の事業用は低調でした。また、X線分析装置部材については出荷が堅調で、精密部品事業全体では売上高が増加しました。

利益面におきましては、内製化等により生産コストの削減が進んだことや、償却費が減少したことにより増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ27億56百万円増加し、356億56百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加11億73百万円、受取手形及び売掛金の増加10億43百万円、商品及び製品の増加2億40百万円、仕掛品の減少1億4百万円、原材料及び貯蔵品の増加1億41百万円、有形固定資産の増加1億44百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億63百万円増加し、60億51百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加2億30百万円、1年以内返済予定の長期借入金の減少2億円、賞与引当金の増加1億39百万円、退職給付に係る負債の減少2億67百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末の少数株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ25億93百万円増加し、296億5百万円となりました。主な要因は、四半期純利益22億19百万円、株主配当金の支払による減少3億21百万円、為替換算調整勘定の増加4億99百万円、退職給付会計の会計基準変更に係る期首利益剰余金の増加1億65百万円であります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、113億92百万円（前年同四半期は86億38百万円）となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、21億45百万円（前年同四半期は資金の増加24億32百万円）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益33億54百万円、減価償却費7億94百万円、賞与引当金の増加1億39百万円、売上債権の増加6億83百万円、たな卸資産の増加1億40百万円、仕入債務の減少2億66百万円、法人税等の支払額13億1百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、6億58百万円(前年同四半期は資金の減少7億30百万円)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出6億57百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、5億35百万円(前年同四半期は資金の減少7億23百万円)となりました。主な要因は、長期借入金の返済額2億37百万円、配当金の支払額3億16百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は予測の範囲内で推移しており、平成26年5月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想の修正が必要になった場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更)

在外子会社の収益及び費用については、従来、在外子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。

この変更は、近年在外子会社における収益及び費用の重要性が増しており、今後もその傾向が継続すると見込まれる中、期末時点で受ける一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を排除し、会計年度を通じて発生する損益をより適切に連結財務諸表に反映させるために行ったものであります。この変更に伴い、前年四半期及び前連結会計年度については、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期連結累計期間の売上高は1億1百万円、営業利益は71百万円、経常利益は7百万円、税金等調整前四半期純利益は7百万円増加しております。また、利益剰余金の前期首残高は2百万円増加し、為替換算調整勘定の前期首残高が2百万円減少しております。

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が2億56百万円減少し、利益剰余金が1億65百万円増加しております。また、損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,078,777	10,252,650
受取手形及び売掛金	5,363,932	6,407,550
有価証券	1,110,204	1,155,700
商品及び製品	1,751,449	1,992,267
仕掛品	1,588,343	1,483,831
原材料及び貯蔵品	2,293,645	2,434,945
その他	1,031,414	1,077,967
貸倒引当金	△27,803	△29,954
流動資産合計	22,189,963	24,774,959
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,137,655	4,067,510
機械装置及び運搬具(純額)	3,523,271	3,202,339
その他(純額)	1,901,163	2,436,514
有形固定資産合計	9,562,090	9,706,363
無形固定資産		
のれん	70,147	50,848
その他	814,957	808,715
無形固定資産合計	885,104	859,564
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	—	3,075
その他	262,523	323,331
貸倒引当金	—	△10,658
投資その他の資産合計	262,523	315,749
固定資産合計	10,709,719	10,881,677
資産合計	32,899,682	35,656,637
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,135,165	2,366,100
1年内返済予定の長期借入金	275,000	75,000
未払法人税等	982,721	968,896
賞与引当金	350,170	489,771
役員賞与引当金	38,006	32,046
その他	953,416	1,198,126
流動負債合計	4,734,479	5,129,941
固定負債		
長期借入金	150,000	112,500
退職給付に係る負債	288,629	20,770
資産除去債務	25,812	25,760
その他	689,097	762,598
固定負債合計	1,153,539	921,629
負債合計	5,888,018	6,051,570

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,095,125	3,095,125
資本剰余金	2,761,941	2,761,941
利益剰余金	20,681,844	22,745,637
自己株式	△26	△26
株主資本合計	26,538,884	28,602,677
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	539,380	1,038,793
退職給付に係る調整累計額	△171,937	△155,917
その他の包括利益累計額合計	367,443	882,875
少数株主持分	105,335	119,513
純資産合計	27,011,663	29,605,066
負債純資産合計	32,899,682	35,656,637

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	12,754,318	12,997,550
売上原価	7,174,123	6,918,260
売上総利益	5,580,194	6,079,289
販売費及び一般管理費	2,909,750	2,878,425
営業利益	2,670,444	3,200,864
営業外収益		
受取利息	2,895	4,083
為替差益	77,139	107,337
その他	34,636	28,410
営業外収益合計	114,670	139,831
営業外費用		
支払利息	3,797	1,655
その他	2,080	1,730
営業外費用合計	5,877	3,386
経常利益	2,779,237	3,337,308
特別利益		
固定資産売却益	28	—
持分変動利益	26,329	20,094
特別利益合計	26,357	20,094
特別損失		
固定資産除却損	24,521	2,423
特別損失合計	24,521	2,423
税金等調整前四半期純利益	2,781,072	3,354,979
法人税、住民税及び事業税	1,173,365	1,303,852
法人税等調整額	△154,109	△177,568
法人税等合計	1,019,255	1,126,284
少数株主損益調整前四半期純利益	1,761,817	2,228,695
少数株主利益	7,705	9,260
四半期純利益	1,754,111	2,219,434

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,761,817	2,228,695
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,724,268	506,307
退職給付に係る調整額	—	16,019
その他の包括利益合計	1,724,268	522,326
四半期包括利益	3,486,085	2,751,021
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,466,537	2,734,866
少数株主に係る四半期包括利益	19,548	16,155

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,781,072	3,354,979
減価償却費	816,004	794,890
のれん及び負ののれん償却額	93,891	22,543
賞与引当金の増減額(△は減少)	182,173	139,601
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△34,938	△5,960
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,303	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△8,832
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,064	11,277
受取利息及び受取配当金	△2,895	△4,083
支払利息	3,797	1,655
為替差損益(△は益)	△149,230	7,736
有形固定資産除却損	12,592	1,126
有形固定資産売却損益(△は益)	△28	—
持分変動損益(△は益)	△26,329	△20,094
売上債権の増減額(△は増加)	△487,269	△683,771
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,732	△140,301
仕入債務の増減額(△は減少)	△34,249	△266,813
前払年金費用の増減額(△は増加)	31,025	—
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	18,948
その他	99,929	222,400
小計	3,298,645	3,445,302
利息及び配当金の受取額	2,895	4,083
利息の支払額	△3,910	△1,724
法人税等の支払額	△865,286	△1,301,803
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,432,343	2,145,857
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△712,466	△657,941
有形固定資産の売却による収入	184	—
無形固定資産の取得による支出	△18,108	△574
その他	△300	△257
投資活動によるキャッシュ・フロー	△730,691	△658,773
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△257,500	△237,500
配当金の支払額	△498,576	△316,524
少数株主への配当金の支払額	△10,865	△5,704
その他	43,003	23,833
財務活動によるキャッシュ・フロー	△723,938	△535,895
現金及び現金同等物に係る換算差額	160,864	268,499
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,138,579	1,219,688
現金及び現金同等物の期首残高	7,959,800	10,172,742
連結子会社の決算期変更による現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△459,420	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,638,959	11,392,430

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	光学フィルム 事業	精密部品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,141,699	5,612,619	12,754,318	—	12,754,318
セグメント間の内部売上高 又は振替高	160,699	—	160,699	△160,699	—
計	7,302,399	5,612,619	12,915,018	△160,699	12,754,318
セグメント利益	1,407,666	1,262,778	2,670,444	—	2,670,444

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	光学フィルム 事業	精密部品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,157,358	5,840,192	12,997,550	—	12,997,550
セグメント間の内部売上高 又は振替高	134,970	—	134,970	△134,970	—
計	7,292,328	5,840,192	13,132,521	△134,970	12,997,550
セグメント利益	1,543,562	1,657,301	3,200,864	—	3,200,864

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。